

分類 番号	B1	取組 名称	「京料理」形成過程に関する歴史的考察
研究代表者：		京都和食文化研究センター	職・氏名： 特任教授 上田 純一
研究担当者：			
京都府立大学（宗田好史、東あかね、東昇、橋爪伸子、竹貫友佳子、山下満智子、橋本淳） 外部分担者・協力者（藤井孝夫氏、カパッソ・カロリーナ氏、田中純子氏、美馬弘氏、上田倫正氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）			
【研究活動の要約】			
目的：本調査研究は、京料理の形成過程を一時資料の歴史的検証を通して、和食文化の体系化の基礎を構築することを目的として企図されたものである。 調査活動の概要：上記の目的のために、以下の基礎的な調査を行い、研究会を重ねた。 ・京料理の主要文献の収集と調査。 ・大学資料館等にて一次資料の収集と調査。 ・研究者と料理人等の関係者を交え、各研究成果を報告する研究会の実施。			
【研究活動の成果】			
<u>①定期的な研究会の開催</u> 調査・研究成果を計6回の研究会を開催し、各研究成果を報告した。 <u>②授業への反映</u> ・研究の成果を、学部横断プログラム「和食の文化と科学」における必修科目「和食文化論」に反映（同授業は、科目等履修生も6名が受講）。 <u>③教科書及び入門書の出版</u> ・研究の成果として、上記「和食文化論」の後続授業たる「和食の歴史」の教科書となる『京料理の文化史』を思文閣出版より出版する。同書は、京料理を歴史的に学ぶ新しい入門書として、京都府民の方を中心として広く世に問うことも企図としている。			
【研究成果の還元】			
平成28年8月／平成29年1月「京都スタディプログラム」における京都に留学を検討する外国人学生に向けた授業（上田純一、上田倫正氏） 平成28年10月リカレント学習講座・京都「和食の文化と科学」講演「文献・伝典にたどる京料理の歴史——懐石料理を中心に」（上田純一） 平成29年3月『京料理の文化史』（思文閣出版）出版			
【お問い合わせ先】 京都和食文化研究センター 特任教授 上田 純一 Tel: 075-703-5251 E-mail: j_ueda@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）



研究会（藤井孝夫氏発表）



「和食文化論」（上田倫正氏講義）



京都スタディプログラムにおける授業

『京都新聞』2016/8/31 朝刊
京都スタディプログラムの取材記事



リカレント学習講座・京都「和食の文化と科学」
講演：上田純一 コーディネーター：宗田好史



『京料理の文化史』（思文閣出版）